

ゴ ミ ゼロ 5 3 0 レポート

第60号 2015年3月31日 発行

編集と発行 530運動環境協議会
〔豊橋市今橋町1番地 豊橋市役所環境政策課内 電話(0532)51-2414〕
〔URL <http://www.530.toyohashi.aichi.jp/> E-mail 530@city.toyohashi.lg.jp〕



スナップ・ムービー・コンテスト 環境教育部門 グランプリ『MYバツくんのうた』

530運動発祥の地、豊橋の顔である豊橋駅前のごみのポイ捨ては減ってきましたが、残念ながらまだありません。本年度は4回（5・7・11・3月）「クリーンアップ大作戦」を実施し、その内3回を豊橋駅前ペデストリアンデッキ周辺で実施しました。

また、平成27年度は530運動が始まって40周年にあたります。そこで、今年度は530運動発祥のまち豊橋を全国に発信するため、『スナップ・ムービー・コンテスト』を実施しました。

530運動はこれからも、ごみがゼロになる社会を目指して、皆さんと共に活動をしていきます。

530会員募集のお知らせ

530運動環境協議会は、環境美化活動から省資源・省エネルギー、環境教育など、今後も様々な取り組みを行い、ごみがゼロになる社会を目指します。

本協議会では活動に参加・協力していただく会員を募集いたしております。年会費は、法人・団体会員は1口1万円、個人会員は1口500円、いずれも1口以上です。申込は協議会事務局窓口のほか、ホームページからできます。

目次

- スナップ・ムービー・コンテスト・・・2
- クリーンアップ大作戦・・・・・・・・・・2
- 冬の省エネ実施キャンペーン・・・・・・3
- No!包装キャンペーン・・・・・・・・・・4
- 会員紹介コーナー・・・・・・・・・・・・・4

530運動発祥のまち豊橋『スナック・ムービー・コンテスト』

今年度は、530運動やエコ活動を全国に広げ、緑豊かできれいな地球を次の世代に引き継ぐため、環境美化や資源の有効活用、省エネルギー、循環型社会の構築など、環境について考えるきっかけとなるような映像作品を募集する、環境映像コンテストを開催しました。

コンテストには、北は北海道、南は鹿児島県まで、全国から73作品（環境教育部門27作品、PR部門46作品）ものご応募をいただきました。厳正な審査を行った結果、以下のとおり受賞者が決定いたしました。

今後は、これらの映像作品を活用し、環境教育や環境啓発を行うとともに、「530運動発祥のまち豊橋」を全国に発信していきたいと思っております。

【受賞作品】

■ 環境教育部門

- グランプリ MYバックんのうた／MYバック君とみんな様
 準グランプリ きれいなしぜんをいつまでも／萩原健太様
 優秀賞 リサイクルすればゴミじゃないよ！ペットボトルは資源として活用しよう！！／いいだまき様
 分別戦士☆エコレンジャー！
 ／旭川医科大学放送研究会様
 桃太郎？編／黒パブリカ様

■ PR部門

- グランプリ ZERO、クリーン・ツーリズム、セルフコントロールの3作品／みんなとみらい530様
 準グランプリ 想い／中川 寛崇様
 優秀賞 あなたは何g減らすことができますか。
 ／三浦有喜様
 H O Tにホッとしない／香取 剛様
 目線をあわせる／うめのみ project 様



PR部門 グランプリ 『クリーン・ツーリズム ～ひろがり～』



環境教育部門 準グランプリ 『きれいなしぜんをいつまでも』



PR部門 準グランプリ 『想い』

※上記の他にも特別賞、最多応募賞があります。受賞作品は530運動環境協議会ホームページより全てご覧いただけます。

URL:<http://www.530.toyohashi.aichi.jp/contest/>

グリーンアップ大作戦



11月15日（土）に実施した第4回駅前グリーンアップ大作戦には、約200名が参加し、およそ60kgのごみを回収しました。また、3月7日（土）に向山緑地でグリーンアップ大作戦を実施しました。昨年に引き続き、今年も梅林園で開催中のうめまつりや、さくら広場で開催されるさくらまつりに合わせて行いました。約230名が参加し、およそ220kgのごみを回収しました。帰る前に、うめまつり開催中の梅林園に向かった方もいました。

冬の省エネ実施キャンペーン



冬季は暖房の使用などによってエネルギー消費量が多くなる季節です。そこで、2月を「省エネルギー月間」として、全国で省エネに取り組んでいます。

本協議会でも、「省エネルギー月間街頭啓発」や「家庭でできる省エネチェック」などを実施し、省エネを呼びかけました。

「省エネルギー月間街頭啓発」では、2月2日（月）午前7時半から豊橋駅ペDESTリアンデッキにおいて、通勤・通学途中の方に「家庭でできる省エネチェック」を記載した啓発チラシと、各種啓発品を配布しました。

「家庭でできる省エネチェック」は、簡単にできる15項目の省エネに関する取り組みの実施状況を答えてもらうもので、159世帯の応募がありました。チェックすることを通して普段のエネルギーの使い方を見直してもらうために行いました。

「省エネルギー月間」は、1970年代のオイルショックを受け、1977年から始まったものです。

様々な資源を輸入に頼っている日本では、省エネはとても重要なことです。しかし、1人1人ができることは大きくはありませんが、少しずつみんなで積み重ねていくことが大切です。

以下に「家庭でできる省エネチェック」の集計結果を掲載します。応募していただいた方の中には、15項目すべて実施している方も見受けられ、皆さんの意識の高さが伺われます。

(単位%)

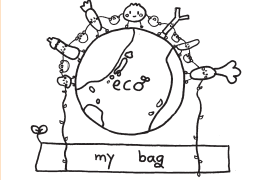


機 器	チェック項目	実施率	10	20	30	40	50	60	70	80	90
暖 房	1 フィルターなどをこまめに清掃している	61.2	[Progress bar showing 61.2%]								
	2 寒く感じたら、暖房を強くする前に重ね着をしている	77.6	[Progress bar showing 77.6%]								
	3 窓には床まで届く厚手のカーテンまたは断熱シートをつけている	65.5	[Progress bar showing 65.5%]								
台 所	4 冷蔵庫の扉は開閉を少なくし、食品を詰め込みすぎないようにしている	83.0	[Progress bar showing 83.0%]								
	5 冷蔵庫の設定を「中」または「省エネ」にしている	85.5	[Progress bar showing 85.5%]								
	6 食器洗いの時は、給湯温度を低めにしている	78.2	[Progress bar showing 78.2%]								
	7 ごはんは炊飯ジャーで長時間保温を控え冷蔵庫に保存し、電子レンジであたためて食べるようにしている	73.9	[Progress bar showing 73.9%]								
	8 野菜をゆでる代わりに、電子レンジを使用するようにしている	44.2	[Progress bar showing 44.2%]								
照 明	9 照明を不必要につけばなしにしないようにしている	87.9	[Progress bar showing 87.9%]								
	10 照明のかさやカバーを定期的に清掃している	47.9	[Progress bar showing 47.9%]								
	11 家族団らんで一部屋に集まり、照明や暖房の使用を減らすようにしている	73.3	[Progress bar showing 73.3%]								
そ 他	12 テレビは省エネモードに設定している	63.0	[Progress bar showing 63.0%]								
	13 風呂は間隔を空けずに入浴するようにしている	66.7	[Progress bar showing 66.7%]								
	14 洗濯は定格容量の80%を目安に、まとめ洗いをしている	80.0	[Progress bar showing 80.0%]								
	15 エアコンなど長期間使用しない機器は、コンセントからプラグを抜いている	67.9	[Progress bar showing 67.9%]								

No! 包装キャンペーン

1月には、余分なレジ袋や過剰包装を断って、ごみ減量について考えてもらうために「No! 包装キャンペーン」を実施しました。今回の「No! 包装キャンペーン」では、「マイバッグイラストコンクール」として「こんなプリントの入ったマイバッグを持ちたい」と思うようなイラストを中学生以下を対象に募集しました。

コンクールには213点もの応募があり、本協議会で審査を行い各賞を決定し賞品をお贈りしました。惜しくも受賞を逃した方へも参加賞としてマイバッグをお贈りしました。

今では多くの方が買い物にマイバッグを持参しています。さらに、予備のマイバッグをカバンや車に入れておくなど、色々な使い方を工夫しています。便利でエコなマイバッグを積極的に使いましょう。

賞	氏名 (敬称略)	優秀賞作品	入選作品	入選作品
優秀賞	岩佐 優衣			
入選	赤石 さくら 河本 真銘			
佳作	天野 未悠	<p>中野小学校 6年 岩佐 優衣</p>	<p>八町小学校 6年 赤石 さくら</p>	<p>牟呂中学校 3年 河本 真銘</p>
	伊藤 迅 中田 こと梨			

会員紹介コーナー

ゆたかクラブ豊橋（豊橋市老人クラブ連合会）さんの活動について紹介します。

感謝の気持ちで530奉仕！まちを「ゆたか」にするクラブ

ゆたかクラブ豊橋（豊橋市老人クラブ連合会）

「ゆたかクラブ豊橋」という団体をご存知でしょうか。聞きなれない名称かもしれませんが、老人クラブと聞くと馴染みのある方が多いかもしれません。

ゆたかクラブ豊橋は、市内で活動する個々の老人クラブによって組織されている「豊橋市老人クラブ連合会」の愛称で、同世代の大勢の仲間と地域づくりや健康づくりなどの活動を行っています。



老人クラブと聞くと何だか古臭いイメージがあるかもしれませんが、クラブで活動している皆さんは、実はとてもパワフルで健康的な方が多いです。グラウンド・ゴルフを始め、ペタンクやボウリングなどの楽しいスポーツ活動も盛んですが、地域で独り暮らしをされている高齢者の見守りやご近所さんとのつながりづくりなど、助け合いや支え合いといった活動も積極的に行っています。

クラブの入会資格が概ね60歳以上の方からということもありますが、最近では今まで「会社人間」だった方が「社会人間」として、「これからは少し地域に貢献してみようか」という具合に入会してくれます。

清掃奉仕活動も私たちゆたかクラブ豊橋の主要な活動の一つです。清掃奉仕団と呼ばれるグループが市内に約60グループあり、各地域の公園の清掃や除草を通じて気持ちのよい汗をかいています。

愛着のある自分たちのまちを「もっと美しく、ずっとキレイに」を合言葉に、これからも一緒に活動してくれる方を大募集しています。活動を見かけたら同世代の方はもちろんですが、様々な世代の方に気軽に声をかけてもらえると励みになりますし、つながりが持てたと嬉しくなります。是非、声を掛け合いましょう。そして、まちをゆたかに、明るくする活動を広めていきましょう！